

令和6年2月1日(木)
定例市長記者会見

13時10分から
市庁舎東館8階 802会議室

TOYAMA CITY

発表項目

1. 令和6年能登半島地震における本市の対応について
【防災危機管理部 防災危機管理課】
2. 「ガラスの街 とやま」PR動画の完成について
【企画管理部 文化国際課】
3. 「プロ野球オールスターゲーム2026」の開催について
【市民生活部 スポーツ健康課】
4. 富山市教育DX政策監の委嘱について
【教育委員会事務局 教育センター】

令和6年能登半島地震における本市の対応について

◆体制

- 地震発生後、「市災害対策本部」を設置(17時00分)
- 市災害対策本部員会議開催(3回)
- 夜間、休日を含め情報収集や被害状況の把握
- 市長を本部長とする「市被災者支援本部」へ移行
(1月9日)

市内の避難所開設状況

- ◆ 市による避難所開設数 81箇所
- ◆ 地域住民や学校等による避難所開設数 14箇所
- ◆ 市内の避難者数 約8,100人

※各数値は市が把握しているものに限る。

市内の地震による被害状況(1月30日現在)

被害種別	内 容
人的被害	重傷 2 名 中等傷 7 名 軽傷 9 名
火災被害	2 件 (楠木地内・下飯野地内)
建物被害 (公共施設等)	建物破損 203件、設備故障等 113件、備品破損等 61件
建物被害 (住家)	全壊 2 件 半壊 20件 一部損壊 644件 (※参考罹災証明申請件数 1,085件)
建物被害 (非住家)	建物破損 150件、塀・ブロック塀等破損 234件、設備故障等 55件、備品破損等 75件、車両等 12件、断水・漏水 8件、隆起・ひび割れ 99件、用水破損 37件、液状化 32件、法面崩壊 1件
道路等被害	液状化 40件、断水・漏水 24件、街灯故障 12件、隆起・ひび割れ 151件、塀・ブロック塀破損 31件、用水破損 6件、法面崩壊 5件

本市の被災者に対する支援状況（1）（1月28日現在）

<災害救助法適用に伴う支援制度>

- ・被服、寝具その他生活必需品の支給（1件）
- ・学用品の給与（0件）
- ・住宅の応急修理（1件）
- ・応急仮設住宅への入居（0件）

<各種支援などに必要な手続き>

- ・「罹災証明書」「被災届出証明書」の交付（1,113件）

本市の被災者に対する支援状況（2）

<住居や生活に関する支援>

- ・市営住宅等への一時入居（8件）
- ・災害により発生したごみの収集（25件）
- ・ブロック塀等の処分（9件）
- ・中小企業者等への支援（0件）

<各種相談窓口>

- ・市民相談センターや弁護士による特別相談窓口の設置
- ・災害時の心のケア、外国人への相談対応 など

本市の被災者に対する支援状況（3）

<各種減免制度>

- ・固定資産税等の減免
- ・水道料金等の減免
- ・国民健康保険料、後期高齢者医療保険料等の減免
- ・介護保険料等の減免
- ・保育料、給食費等の減免
- ・障害福祉サービスの利用者負担の減免 など

能登半島地震で感じた改善点や課題

- ・津波災害における避難行動の周知・啓発
- ・市民の非常持ち出し品や備蓄食料など日頃からの備え
- ・避難所の開錠について
- ・避難所への毛布や食料、水などの輸送体制

災害時協定機関との連携強化

◆災害時協定締結機関との意見交換会

1 日時 令和6年2月16日(金)

14時00分～15時30分

2 場所 県防災危機管理センター会議室（5F研修室）

3 テーマ 「平素における連携のあり方」

「災害時における協定の発動に向けた初動のあり方」

石川県珠洲市から避難者の受入れ(1月31日時点)

◆対象者 珠洲市で被災された方々 (105名)

◆避難者への対応

- ・医師や保健師による健康チェック
- ・衣類などの生活物資の提供
- ・交流スペースの設置
- ・石川県や珠洲市からの情報提供
- ・医療、医薬品の提供体制の構築
- ・外出機会の提供

「ガラスの街 とやま」PR動画の完成について

◆ 概要・趣旨

「ガラスの街 とやま」、「富山ガラス」の魅力を広く情報発信し、観光客など多くの人に興味・関心を持ってもらうことで、富山ガラスの普及や富山市ガラス美術館、富山ガラス工房といったガラス関連施設への誘客につなげるためのPR動画を制作したものの。

Toyama Glass

「ガラスの街 とやま」PR動画の完成について

◆『ガラスとわたし～はながめぐるガラスの街とやま～』

市内のガラス美術館、ガラス工房、富山ガラスを使用されている料理店、和菓子店等を旅して、「ガラスの街とやま」の魅力に触れるという構成。

富山市ガラス美術館



富山ガラス工房



料理店等



◆はな／モデル

1971年、横浜市出身。17才からモデル活動を始め、『non-no』、『装苑』などの雑誌でモデルとして活躍。NHK教育テレビ「トップランナー」や「新日曜美術館」の司会の他、ラジオDJ、エッセイの執筆など活動の範囲を広げる。(Instagramフォロワー数4.7万人)



「ガラスの街 とやま」PR動画の完成について

No.	映像時間	視聴ターゲット	PR媒体（場所等）
1	1分間	<ul style="list-style-type: none"> 観光客（海外、県外） 富山市民 	<ul style="list-style-type: none"> SNS（はなさん、富山ガラス工房等） YouTube（富山ガラス工房、富山市ガラス美術館） デジタルサイネージ（富山駅、富山空港等） その他（富山駅周辺ホテル、富山市施設）
2	3分間		
3	2分間	施設利用者等	富山市施設（富山市ガラス美術館、富山ガラス工房、富山ガラス造形研究所 等）

撮影協力店舗：「御料理心じ居」、「引網香月堂」

「ガラスの街 とやま」PR動画の完成について【イベント等】

◆「ガラスの街とやまPRブース」

期間 1月27日(土)～5月中旬

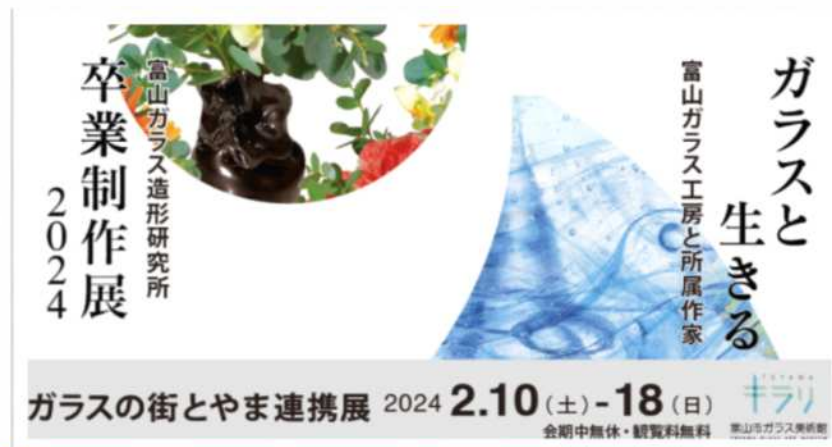
場所 富山空港 2階スペース



◆「ガラスの街とやま連携展」

期間 2月10日(土)～18日(日)

場所 富山市ガラス美術館 2階



「プロ野球オールスターゲーム2026」の開催について

◆ 開催日 令和8年7月(予定)

◆ 会場 富山市民球場
(アルペンスタジアム)



◆ 概要 プロ野球の両リーグに所属する一流選手が集う夢の祭典であり、富山市民球場では、1996年以来、30年ぶり2回目の開催となります。

開催の経緯について

◆ 本市の誘致活動

- ▶ コミッショナーへのトップセールス、フレッシュオールスターゲームの開催、企画・事業案の検討・提案

◆ 開催の思い

- ▶ 開催に向け北陸全体で盛り上げたいという本市の思い
- ▶ 被災した北陸、富山で開催することで、元気と勇気、支援のメッセージを届けたいという日本野球機構様の思い

富山市教育DX政策監

◆ 所属・氏名

一般社団法人ICT政策支援機構代表理事
谷 正友(たに まさとも)



◆ 任用期間

令和6年2月1日から令和7年1月31日まで(1年間)

◆ 業務実績

文部科学省 学校DX戦略アドバイザー など

富山市教育DX政策監の役割

国のGIGAスクール構想下において、

- ▶ 児童生徒の個別最適な学びを一層実現させる
- ▶ 教職員の働き方改革を一層促進する

そのため、学校の

デジタルイゼーション、

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が必要

◆ 役割



学校のDX化に向け、国や他自治体の先進事例の提供、
専門的な知見による助言や支援をいただく